

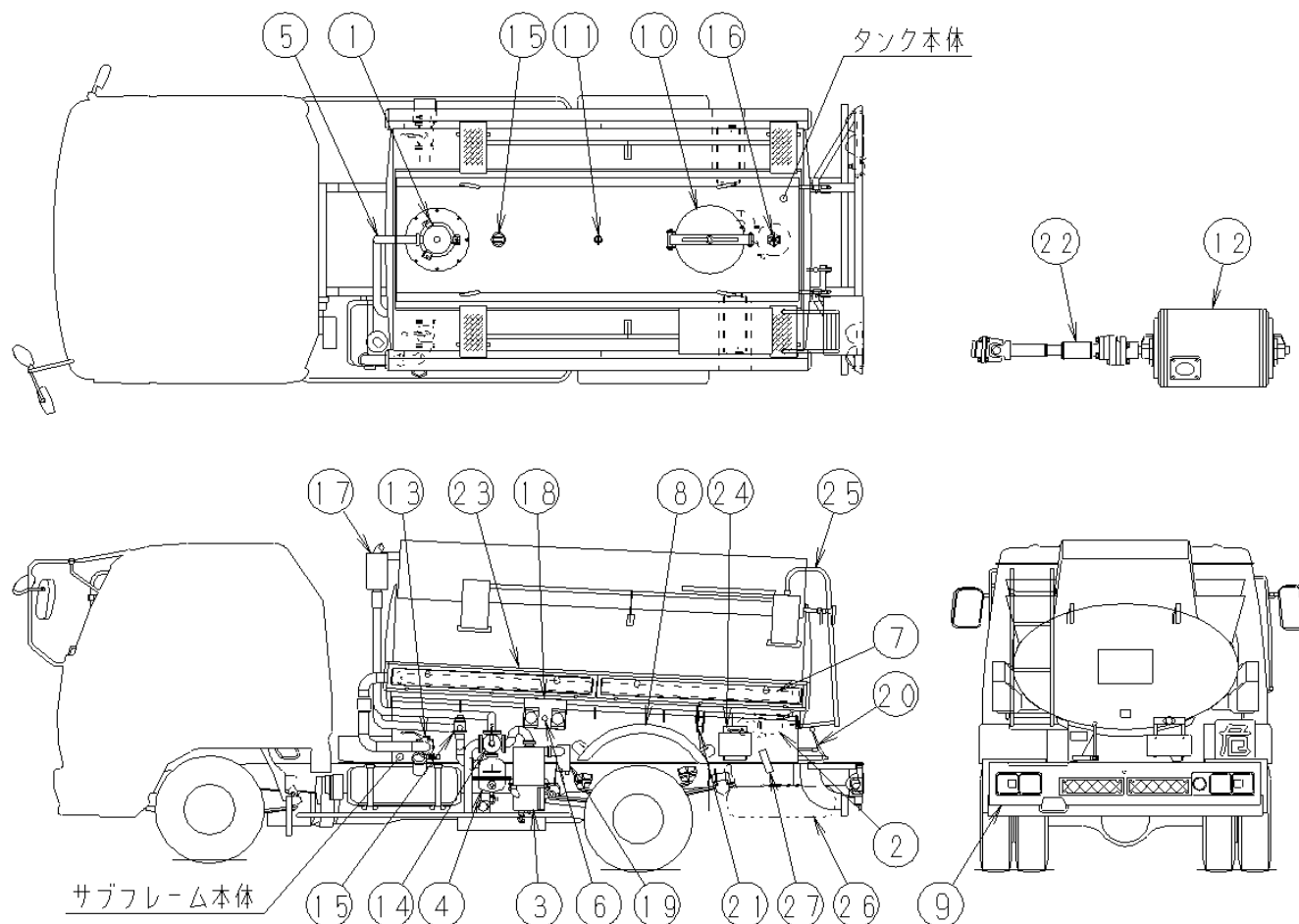
東邦車輛製 廃油ローリ(VF) 解体マニュアル

1. 本解体マニュアルは、解体についての指針を示したものであり、本マニュアル通りの解体方法を強制するものではありません。
2. 本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合があります。

内 容

1. 廃油ローリ架装物の構造概要
2. 廃油ローリ架装物の解体マニュアル
3. 材料銘板、製作者名表示及び貼付位置
4. お問い合わせ窓口

1. 廃油ローリ架装物の構造概要



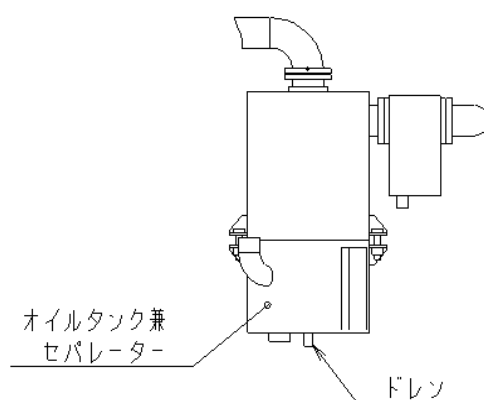
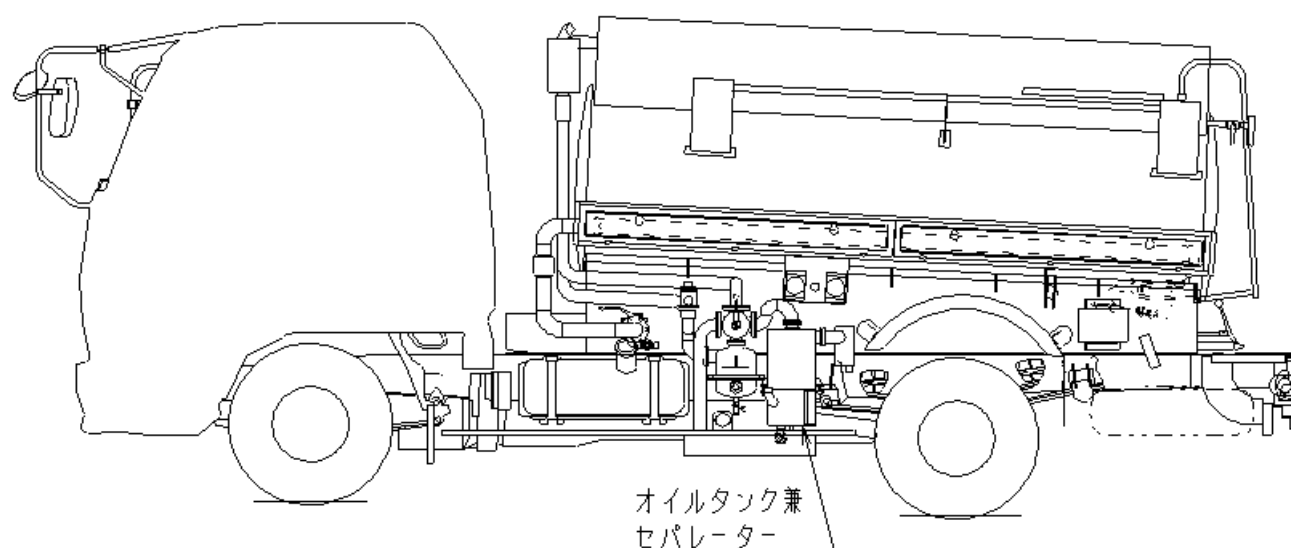
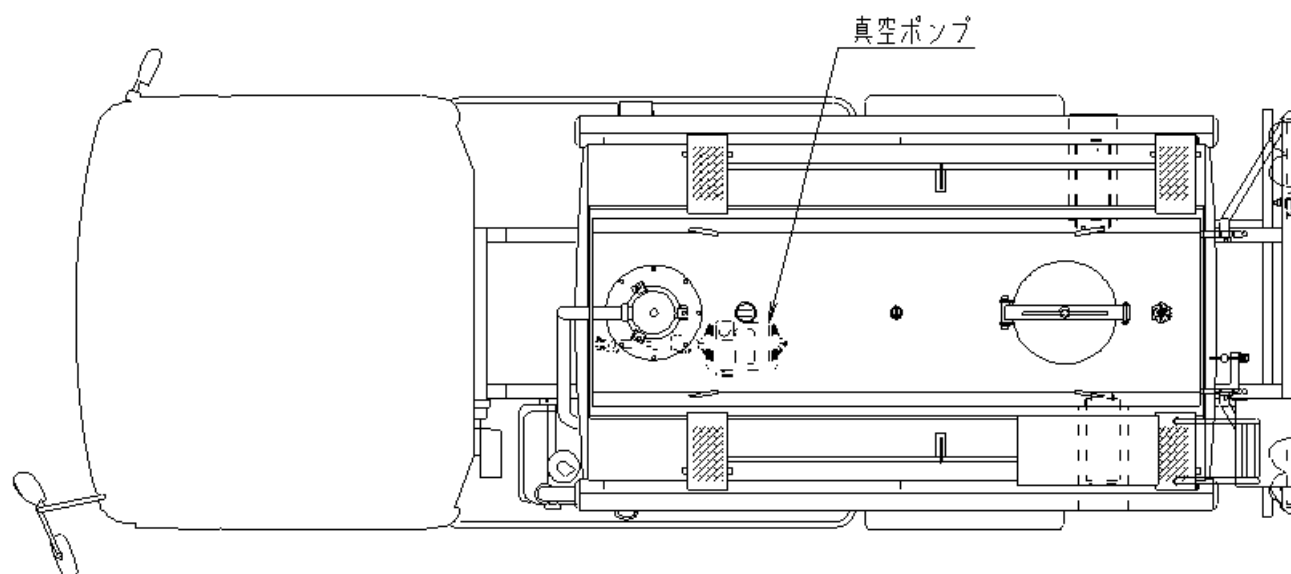
【注記】上図は一般的な廃油ローリを例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称
1	主マンホール	9	リヤバンパー	17	排気筒	25	外装部品
2	ボトムバルブ	10	ハッチ式マンホール	18	操作盤	26	スぺアタイヤキャリア
3	オイルタンク兼用セパレーター	11	検尺口	19	給油管,空気導入管,戻し配管	27	マウンティングブラケット
4	逆流防止弁付エアクリーナ	12	真空ポンプ	20	緊急閉鎖装置		
5	真空配管	13	吸排コック	21	アースリール		
6	作業用スロットル	14	吸排切替コック	22	ドライブシャフト		
7	吸排ホース	15	空気安全弁	23	ホース格納箱		
8	リヤフェンダー	16	ボトムコントロール	24	消火器		

2. 廃油ローリ架装物解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内積載物の残物の洗浄処理を専門業者にて実施する。配管、ポンプ、バルブ等含む。必ず中身を確認願います。	引火、酸欠、中毒等に注意して下さい。
	事前処理Ⅱ	真空ポンプの油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離します。	ドライブシャフトがシャシ側とつながっていますので、切り離して下さい。
車両全体	タンク側	タンク側付属品を取り外す。	
架装物	タンク本体	溶断、切断等により、裁断し材質により分別します。	
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	主マンホール	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
2	ボトムバルブ	同上	取り外して、残液を抜く。 引火等に注意してください。
3	オイルタンク兼用セパレーター	同上	ドレンから油を抜く。
4	逆流防止弁付エアクリーナ	同上	ドレンから残液を抜く。
5	真空配管	同上	取り外して、残液を抜く。
6	作業用スロツトル	同上	
7	吸排ホース	同上	取り外して、残液を抜く。
8	フェンダー	同上	
9	リヤバンパー	樹脂ランプ、反射板は分別します。	
10	ハッチ式マンホール	金属類とゴム類に分別します。	
11	検尺口	同上	
12	真空ポンプ	同上	ドレン等から残液を抜く。
13	吸排コック	同上	
14	吸排切替コック	同上	ドレンから油を抜く。
15	空気安全弁	同上	取り外して、油を抜く。
16	ボトムコントロール	金属とゴム類に分別します。	
17	排気筒	取り外し分別します	
18	操作盤	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
19	給油管、空気導入管、戻し配管	同上	取り外して、油を抜く。
20	緊急閉鎖装置	分解又は内部可溶物を溶解して分別します。	内部スプリングが飛び出すので怪我に注意してください。
21	アースリール	金属類と配線類に分別します。	配線重量 約0.3～1kg
22	ドライブシャフト	取り外し分別します	
23	ホース格納箱	同上	
24	消火器	同上	消火器本体は専門業者にて処理してください。
25	外装部品	同上	
26	スペアタイヤキャリア	同上	
27	マウンティングブラケット	同上	

事前処理Ⅱ図



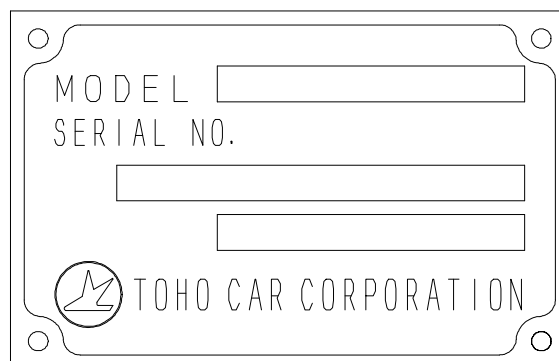
真空ポンプ	取り外してから油を抜取る。
オイルタンク兼セパレーター	ドレンコックより油を抜取る。 【油量】2t～6t車 3～5L 8t車以上 7～10L

3-1. 材料銘板、製作者名表示

材料銘板 例

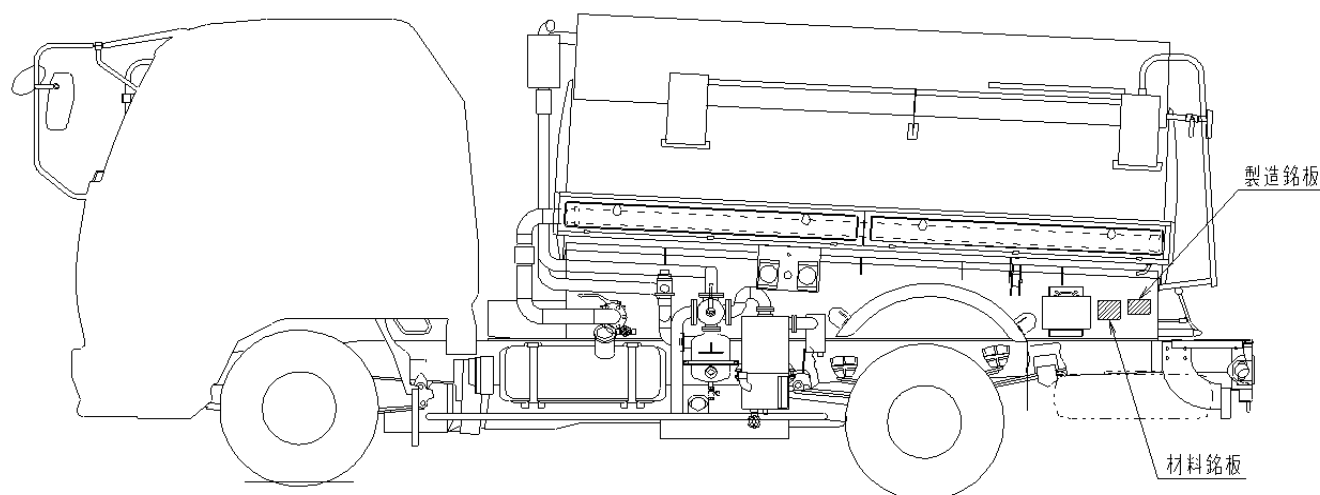
メーカー出荷時架装物樹脂材料表		
品目名称	材質	備考
物量計透明板	FRP	
フロートボール	PE	
主マンホール弁座	ABS	
ドレンホース	VCE	
フェンダー	FRP	該当車のみ
たれゴム	PE	
車輪止	廃プラ	該当車のみ

E46920-004-00A

製作者名表示 例(製造銘板)

3-2. 材料銘板、製作者名表示貼付位置

材料銘板は製造銘板のそばに取付けます。
材料銘板は原則としてサブフレーム左側に取り付けます。
架装物その他で左側に取り付かない場合は、サブフレーム右側に取り付けます。

材料銘板貼付位置

4. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルについてのお問合わせがありましたら下記にて受付け致します。

東邦車輛株式会社 営業部 業務課 TEL 045-575-9901